

業界団体総会

次の80周年へ向け方向性共有

日本バルブ工業会 創立70周年記念祝賀会も



西岡会長

日本バルブ工業会（会長＝西岡利明・SANE I社長）はさきごろ、都内で第12回通常総会を開き、昨年度事業報告や今年度事業計画案について承認した。また、1954年の創立から70周年を迎えたことから記念祝賀会も併せて開催。約300人が参加する中、次の80周年へ向けた事業の方向性を共有することにもなった。これまでに、記念講演会やパネルディスカッションを実施した。

記念祝賀会で西岡会長は「高度経済成長期に産声を上げた当工業会は70

周年を迎えた現在、賛助

会員含め188社の大所帯となった。これまで様々な分野で活動してきた証と思う。会員企業の満足度向上や業界の地位向上につながるよう、今後も多方面にアンテナを張り、若手・女性の力を取り入れながら活動していきたい」と意気込みを語った。

昨年年度までを計画期間とする70周年を見据えた中期活動計画（V70）が終了し、新たな中期活動計画がスタートした。80周年までの10年間を「V80」とし、今年度から2026年度までを第一段階とした3カ年計画の「STAGE1」を策定。会員の期待以上に満足度の高い工業会を目指して活動に取り組む。

重点課題は①サステナブルなバルブ業界へ②次世代人財育成と働きやすい職場へ③情報・事業の活性化による認知度・満足度向上④業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上。このうち「次世代人財」では人財確保に向けた課題共有やセミナーの実施、研修テキストの内容見直しや講座の内容改善、「バルブ女史ネットワーク」を通じた女性社員のモチベーションアップの働きかけ等を行う。「業界ネットワーク」では水道行政移管に伴う関連省庁との関係構築や関連団体マップの刷新、ユーザー向けの動画制作等を行う。

新規会員加入数や各事業・研修会への参加率、アンケートの回答率などを監視指標とする。

記念祝賀会では特別功労者表彰を実施。経済産業大臣表彰に元会長の中

村善典氏、製造産業局長表彰に前会長の堀田康之氏がそれぞれ表彰された。また、脱炭素化への取り組み目標や社会貢献事業について報告したほか、女性落語家の蝶花楼

桃花氏による講演「努力は夢を叶えてくれる」、会員企業の若手社員がパネリストを務めたパネルディスカッション「若手から工業会への期待」があった。

水道産業新聞

2024年（令和6年）7月25日（木曜日）